

2026年度 事業計画書

2026年 4月 1日 ～ 2027年 3月 31日

2026年 3月 17日

一般財団法人 岸和田農友協会

2026年度 事業計画の概要

概要

- 病院全体の高稼働維持を最優先課題とし、急性期病院や診療所、介護施設等との多角的な連携を強化する。特に前方病院の退院ニーズを迅速に捉えるため、受入フローを最適化するとともに、「がんリハビリテーション料」の施設基準取得や病床回転率の向上を図り、早期受入体制を強化する。
年1回の地域連携交流会の開催を通じて紹介経路を拡充するとともに、月例の地域向け健康セミナーにより認知度向上と「地域に選ばれる病院づくり」を目指す。
体制面では、リハビリ実施単位数拡大に向けたセラピストの増員、および看護・介護職の安定的な人員確保に注力する。介護部門においては、訪問リハビリ・通所介護・有料老人ホーム等との連携を深め、入院から在宅復帰・入居まで「切れ目のない支援体制」を構築し、地域医療の要としての受入基盤を確立する。
- 事業収支
 - 病棟稼働率の維持およびリハビリテーション実施単位数の増加により入院単価の向上を図り、入院収益の拡大を目指す。
- 入院部門
 - 急性期病院からの転院ニーズを確実に捉えるとともに、診療所や介護施設等との連携を深化させ、病棟全体での高稼働率を維持する。あわせて、病床回転率の向上およびリハビリテーション実施単位数の増加により、入院単価の向上を図る。
- 外来部門
 - 外来患者数は前年度と同程度を維持する。
- 健診部門
 - 胃透視枠の増設による健診単価の改善を図るとともに、近隣市町村の新規入札へ参加し受診者数の拡大を目指す。
- 在宅部門
 - 訪問看護は前年度同件数を維持し、訪問リハビリについてはスタッフ体制の拡充により、件数の増加を図る。
- 介護部門
 - 介護サービス事業の営業活動を強化し、利用者数の増加および事業の認知拡大を図る。
- 令和8年度診療報酬改定
 - (増収)
 - 賃上げ・物価上昇に対する支援事業
 - 回復期リハビリテーション病棟・療養病棟入院料の増加
 - 回復期リハビリテーション強化体制加算の算定
 - 回復期リハビリテーション病棟における退院前訪問指導料の出来高の算定
 - (減収)
 - 疾患別リハビリテーション料の算定単位数の上限緩和対象患者の見直し
 - 運動器リハビリテーション料の6単位上限による総単位数の減少
 - 離床を伴わない疾患別リハビリテーション料の減算かつ1日2単位制限
 - 目標設定等支援・管理料等の廃止

■ 経営指標

|| 事業収支

	24年度	25年度	26年度 目標	要点
- 事業収益	<u>1,986百万円</u>	2,020百万円 (+34百万円)	2,094百万円 (+74百万円)	・ 病院高稼働率の維持
- 事業費用	<u>1,906百万円</u>	2,004百万円 (+98百万円)	2,051百万円 (+47百万円)	・ 人件費の増加
- 事業利益	<u>81百万円</u>	16百万円 (▲65百万円)	43百万円 (+27百万円)	
- 経常利益	<u>87百万円</u>	30百万円 (▲57百万円)	55百万円 (+25百万円)	

() は、対前年

|| 入院・外来・健診部門（病院）

	24年度	25年度	26年度 目標	要点
- 入院 稼働率全体	<u>99.3%</u>	98.3% (▲1.0%)	99.3% (+1.0%)	・ 急性期病院との連携強化
- 外来 患者延数	<u>3,566名</u>	3,439名 (▲3.6%)	3,439名 (±0%)	・ 診療枠1コマ削減
患者数／日	<u>12.3名</u>	11.7名 (▲4.9%)	11.7名 (±0%)	
- 健診 院内健診	<u>1,714件</u>	1,909件 (+11.4%)	1,966件 (+3.0%)	・ 胃透視検査枠の拡大
巡回健診	<u>15,802件</u>	16,464件 (+4.2%)	16,479件 (+0.1%)	・ 営業強化による増収
産業医	<u>2,124件</u>	2,176件 (+2.5%)	2,227件 (+2.3%)	・ 現契約の維持
保健指導	<u>8件</u>	10件 (+25.0%)	10件 (±0%)	・ 受診勧奨を強化

在宅部門（病院）

	24年度	25年度	26年度 目標	要点
- 訪問看護	<u>174名</u>	171名 (▲1.7%)	171名 (±0%)	・前年度と同程度
- 訪問リハビリ	<u>3,979名</u>	4,498名 (+13.0%)	4,865名 (+8.2%)	・スタッフ体制 の拡充

％：稼働率，名：利用者延数

関連事業

	24年度	25年度	26年度 目標	要点
- 通所介護	<u>74.1%</u>	77.5% (+3.4%)	77.5% (±0%)	・SNS活用やチラシ配布による営業強化
- 居宅介護支援	<u>85.5件</u>	92件 (+7.6%)	17件 (▲81.5%)	・介護支援専門員を採用し事業再開
- 訪問介護	<u>12,816名</u>	12,038名 (▲6.1%)	12,810名 (+6.4%)	・介護度の高い利用者を積極的に受け入れる
- 有料老人ホーム	<u>95.0%</u>	92.8% (▲2.2%)	95.0% (+2.2%)	・稼働率の維持

％：稼働率，名：延利用者数，件：プラン数

■ その他

- 施設整備費等

施工予定日	施設等	案件	金額
2026年上半期	岸和田平成病院	空調設備工事 (リハビリ室)	2百万円
2026年下半期	岸和田平成病院	正面玄関改修	2百万円
2026年下半期	岸和田平成病院	生化学分析装置更新	10百万円
2026年上半期	メディケアハウス春木	呼び出しコール更新	2百万円
2026年度	春木メディケアセンター	給湯システム改修	2百万円

入院

■ 全体〈149床〉

- 概要
 - 稼働率の安定化
 - 急性期病院の退院予定や転院希望時期を踏まえ、当院の受入れ可能時期を柔軟に調整することで、円滑な転院調整を行う。
 - 年2回広報誌を発行し、季節のご挨拶（お歳暮・お中元）ならびに通常の営業活動時に配布することで、当院の取り組みや強みを積極的に発信する。
 - リハビリテーション実施単位数の拡大
 - セラピストの人員確保・増員
 - 新卒採用の強化に向け、養成校への訪問活動を継続的に実施する。
 - 中途採用については、職員紹介制度および紹介会社の活用を継続して実施する。
 - がんリハビリテーション
 - がんリハビリテーション施設基準を取得し、専門性の高いリハビリテーション体制を整備するとともに、急性期病院からの紹介増加を促進し、病床稼働率の向上および安定した経営基盤の強化につなげる。
- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 稼働率	<u>99.3%</u>	98.3% (▲1.0%)	99.3% (+1.0%)
- 単価／人・日	<u>28,824円</u>	29,514円 (+690円)	30,442円 (+928円)
- 収益	<u>1,557百万円</u>	1,578百万円 (+1.4%)	1,644百万円 (+4.2%)

■ 入院料別

Ⅱ 療養病棟入院料 1〈104床〉

- 概要
 - リハビリテーションの充実
 - 2026年度のリハビリテーション実施単位数は1.19単位/日（2025年度実績1.23単位）
 - セラピストの採用が計画どおり進まず、回復期リハビリテーション病棟への重点的な人員配置を行ったため単位数が低下。
 - 医療区分割合
 - 区分2・3の割合については93%以上を目標とする。

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 稼働率	<u>99.4%</u>	98.4% (▲1.0%)	99.3% (+0.9%)
- 単価／人・日	<u>23,851円</u>	24,795円 (+944円)	25,358円 (+563円)
- 収益	<u>900百万円</u>	926百万円 (+2.9%)	956百万円 (+3.2%)

Ⅱ 回復期リハビリテーション病棟入院料1〈45床〉

- 概要

- リハビリテーションの充実
 - 2025年度のリハビリテーション実施単位数は7.3単位/日。
 - 2026年度のリハビリテーション実施単位数は7.6単位/日を目標とする。
- 稼働率アップ
 - 1日受入れ患者数を1件/日→2件/日
 - 看護師常勤2名雇用し現場体制を構築
 - お断り件数0件
 - 療養病棟をクッションとした「一時受入」を戦略的に活用し、空床発生後速やかに回復期病棟へ移行させる柔軟な運用を徹底することで、紹介症例を一切取りこぼさない体制を確立する。
 - 入院決定率47%→57%
 - 月3件の受入件数増加を目指し、地域連携スタッフを中心とした営業活動を継続し、多職種が同行のうえ、年に3回退院患者の改善事例動画を活用して当院の強みを発信する。

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 稼働率	<u>99.0%</u>	98.0% (▲1.0%)	99.3% (+1.3%)
- 単価／人・日	<u>40,143円</u>	40,465円 (+322円)	42,194円 (+1,729円)
- 収益	<u>653百万円</u>	651百万円 (▲0.3%)	688百万円 (+5.7%)

外来部門

全体

- 概要
 - 外来患者数に対し、一部の日程で2診体制となっている現状を踏まえ、診療体制の見直しを行う。金曜日午後の内科外来について2診体制から1診体制へ変更し、診療コマを1コマ削減することで医師配置の適正化を図る。削減した診療コマは、月曜日の外来非常勤医師の配置変更により生じる枠に振り替える。
 - 外来患者数は前年度と同程度を維持する。（外来枠1コマ削減し患者集約）

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 患者延数	<u>3,566名</u>	3,439名 (▲3.6%)	3,439名 (±0%)
- 患者数／日	<u>12.3名</u>	11.7名 (▲4.9%)	11.7名 (±0%)
- 単価	<u>7,510円</u>	7,167円 (▲343円)	7,167円 (±0円)
- 収益	<u>27百万円</u>	24百万円 (▲11.1%)	24百万円 (±0%)

診療科別

内科

- 概要
 - 退院後のフォローとして、より積極的に外来受診を案内する。
 - 同法人の運営する有料老人ホームとの連携を継続し、入居者の外来受診についても積極的なフォローを行う。

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 患者延数	<u>2,908名</u>	2,780名 (▲4.4%)	2,780名 (±0%)
- 患者数／日	<u>10.0名</u>	9.5名 (▲5.0%)	9.5名 (±0%)

|| 整形外科

- 概要
 - 退院後のフォローとして、より積極的に外来受診を案内する。
- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 患者延数	<u>446名</u>	444名 (▲0.4%)	444名 (±0%)
- 患者数／日	<u>9.3名</u>	8.6名 (▲0.8%)	8.6名 (±0%)

|| 泌尿器科

- 概要
 - 退院後のフォローとして、より積極的に外来受診を案内する。
- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 患者延数	<u>212名</u>	215名 (+1.4%)	215名 (±0%)
- 患者数／日	<u>4.2名</u>	3.7名 (▲11.9%)	3.7名 (±0%)

健診部門

- 概要
 - 収益の増加
 - 院内健診
 - 現在、胃透視検査とレントゲン検査を同一室で実施している運用上の制約を考慮し、繁忙期に限定した「胃透視検査枠」の戦略的増枠を行い、前年度比45枠増設する。これにより受診機会を確保し、実施割合向上による健診単価の改善を図る。
 - 巡回健診
 - 現在取り組んでいる近隣市町村での健診受託実績を強みとして活かし、他市町村の新規入札にも積極的に参加することで受診者数の増加を図る。
 - 特定保健指導
 - 継続的な受診勧奨により、昨年度と同様の件数を維持する。

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 院内健診	<u>1,714件</u>	1,909件 (+11.4%)	1,966件 (+3.0%)
- 巡回健診	<u>15,802件</u>	16,464件 (+4.2%)	16,479件 (+0.1%)
- 産業医	<u>2,124件</u>	2,176件 (+2.5%)	2,227件 (+2.3%)
- 保健指導	<u>8件</u>	10件 (+25.0%)	10件 (±0%)
- 収益	<u>174百万円</u>	184百万円 (+5.7%)	185百万円 (+0.5%)

在宅部門

Ⅱ 訪問看護

- 概要
 - 連携体制の維持
 - 同法人の介護施設との連携を維持する。

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 利用者延数	<u>174名</u>	171名 (▲1.7%)	171名 (±0%)
- 利用者数／日	<u>1.9名</u>	1.8名 (▲5.3%)	1.8名 (±0%)
- 収益	<u>72万円</u>	72万円 (±0%)	72万円 (±0%)

Ⅱ 訪問リハビリ

- 概要
 - 新規利用者の確保
 - 退院患者へのフォローを積極的に実施する。
 - スタッフ体制を3.4名→3.7名に拡充し、利用者数の増加を図る。

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 利用者延数	<u>3,979名</u>	4,498名 (+13.0%)	4,865名 (+8.2%)
- 利用者数／日	<u>12.9名</u>	14.6名 (+13.2%)	15.7名 (+7.5%)
- 収益	<u>28百万円</u>	31百万円 (+10.7%)	34百万円 (+9.7%)

関連事業

Ⅱ 平成デイサービスセンター春木（通所介護）〈28名〉

- 概要
 - 新規利用者の確保
 - 近隣の居宅介護支援事業所へ定期的に訪問を行う。
 - 退院患者に対する利用案内を強化する。
 - チラシのポスティングを実施し、地域への認知度向上を図る。
 - SNSを活用し、当院のサービス内容や取組を発信することで利用者獲得につなげる。

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 稼働率	<u>74.1%</u>	77.5% (+3.4%)	77.5% (±0%)
- 単価／人・日	<u>8,914円</u>	9,185円 (+271円)	9,185円 (±0円)
- 収益	<u>54百万円</u>	58百万円 (+7.4%)	58百万円 (±0%)

Ⅱ 岸和田平成介護支援センター（居宅介護支援）

- 概要
 - 事業再構築
 - 現在、休止中の事業について、介護支援専門員を採用し営業を再開する。

- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- ケアプラン数／月	<u>85.5件</u>	92件 (+7.6%)	17件 (▲81.5%)
- 収益	<u>11百万円</u>	5.1百万円 (▲53.6%)	1.3百万円 (▲74.5%)

Ⅱ 平成ヘルパーステーション（訪問介護）

- 概要
 - サービス提供方針
 - 業務の効率化を図り、質の高いサービスを安定的に提供する。
 - 介護度の高い方に対しても、状況に応じて受け入れを検討し、丁寧な支援を行う。
- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 利用者延数	<u>12,816名</u>	12,038名 (▲6.1%)	12,810名 (+6.4%)
- 利用者数／日	<u>34.0名</u>	33.0名 (▲2.9%)	35.1名 (+6.4%)
- 収益	<u>36百万円</u>	33百万円 (▲8.3%)	36百万円 (+9.1%)

Ⅱ メディケアハウス春木（有料老人ホーム）〈40名〉

- 概要
 - 稼働率の維持
 - 現在行っている退院患者への入居案内を継続し、引き続き安定した受け入れに努める。
 - 新規利用者獲得のため居宅介護支援事業所に営業を実施する。
 - 近隣地域へチラシの配布による広報活動を実施する。
- 指標

	24年度	25年度	26年度 目標
- 稼働率	<u>95.0%</u>	92.8% (▲2.2%)	95.0% (+2.2%)
- 単価／人・日	<u>3,550円</u>	3,574円 (+24円)	3,582円 (+8円)
- 収益	<u>49百万円</u>	49百万円 (±0%)	51百万円 (+4.1%)

Ⅱ 講演事業

- 健康セミナーの継続実施や地域イベントへの参加などを通じて情報発信を行い、病院の認知度向上と地域に選ばれる病院づくりを推進する。

2026年度健康セミナー年間予定表

月	テーマ	講師
4月	いつまでもイキイキと！脳の健康法	介護福祉士
5月	食中毒を防ぐために	介護福祉士
6月	肩こりの原因と対策	理学療法士
7月	熱中症から身を守るために	看護師
8月	心も体も健やかに	介護福祉士
9月	骨を守る生活習慣	理学療法士
10月	頭痛の原因とその対策	介護福祉士
11月	正しく知ろう！感染症予防の基本	介護福祉士
12月	インフルエンザから身を守るには	看護師
1月	腰を守る日常生活のコツ	理学療法士
2月	認知症を防ぐためにできること	介護福祉士
3月	人生会議とは？～もしもの時に備える話し合い～	介護福祉士

採用計画・人件費

採用計画

- 看護師・介護職員の退職補充および人員体制の適正化、リハビリ職は実施単位数の増加への対応、その他職種の人員不足解消を目的として、各職種の採用を計画的に実施する。

	職種	26年度 見込み
- 総数	-	17.7人
- 内訳	看護師	5人
	介護職員	4人
	リハビリ	4人
	管理栄養士	1人
	診療情報管理士	1人
	清掃	0.7人
	介護支援専門員	1人
	事務（健診）	1人

人件費

- 看護師・介護職の人員不足解消および退職補充を中心に、その他不足職種についても必要な補充採用を行うことから、職員数・人件費の増加を見込んでいる。

	24年度	25年度	26年度 見込み
- 職員総数	<u>221.8人</u>	238.2人 (+7.4%)	255.9人 (+7.4%)
- 人件費	<u>1,240百万円</u>	1,208百万円 (▲2.6%)	1,265百万円 (+4.7%)
- 人件費率	<u>62.4%</u>	59.8% (▲2.6%)	60.4% (+0.6%)

以上